

平成27年度第5回（第11期第10回）小平市廃棄物減量等推進審議会  
会議次第

平成28年1月26日(火)  
午後2時00分～  
中央公民館 学習室4

1 開会

2 事務局報告

3 議事

(1) 小平市リサイクルセンター整備基本計画について

(2) 重点施策の実現に向けて（答申内容の検討）

4 その他

5 閉会

配付資料

- 
- 資料1-1 パブリックコメント等の実施結果について
  - 資料1-2 パブリックコメントで寄せられた意見とその対応等（案）
  - 資料1-3 市民懇談会での質疑応答と意見（要録）
  - 資料1-4 小平市リサイクルセンター整備基本計画（案）
  - 資料2 答申一案
  - 資料3（参考資料1） 事務局からの報告事項（メモ）

- 会長 ただいまから、第 10 回の審議会を開催いたします。  
 本日は、板羽委員、小日向委員、島田委員、林田委員からご欠席の連絡をいただいています。  
 会議の開催に当たりまして、岡村環境部長から御挨拶をいただきます。
- 環境部長 本日は第 10 回審議会に御出席いただきありがとうございます。さて、市では新年度予算と補正予算の編成に取り組んでいるところでございます。本日の審議会ではリサイクルセンター整備基本計画についてのパブリックコメントの結果と意見への対応についてご報告いたします。引き続き、答申内容の検討をお願いいたします。
- 会長 続いて、配付資料の確認をお願いします。
- 事務局 \* \* \* \* \* 配付資料確認 \* \* \* \* \*
- 会長 それでは、次第の「2 事務局報告」に移ります。  
 白倉資源循環課長からお願いします。
- 事務局 \* \* \* \* \* 資料 3（参考資料 1）の報告 \* \* \* \* \*  
 次に、資料はございませんが、一般廃棄物処理基本計画について、昨年度と同様に、施設の整備に係る国の交付金の申請に当たって必要な事項を書き加えるなどの一部変更を行います。  
 この後、リサイクルセンターの整備基本計画について、御説明いたしますが、このリサイクルセンターの計画の確定に伴い、施設の整備年度などが変更になりますので、その点を変更させていただきます。  
 また、現在、小平・村山・大和衛生組合で進めています、ごみ焼却施設について、前回、報告させていただきましたとおり、平成 27 年 11 月に、基本方針等が合意され、焼却炉の規模を 243 トン以下とすることなどが決まりましたので、それらの点についても、変更をさせていただきます。  
 なお、次回の審議会の際に、変更した箇所については、報告させていただきます。
- 会長 ここで傍聴者 1 名に入室いただきます。  
 続いて、次第の「3 議事」に移ります。  
 はじめに、(1)「小平市リサイクルセンター整備基本計画について」を議題とします。  
 事務局から、説明をお願いします。
- 事務局 \* \* \* 資料 1-1 から 1-4 までの説明 \* \* \*
- 会長 説明は終わりました。  
 この議事について、山脇委員から事務局に、事前に質問が寄せられていますので、委員からご発言いただきたいと思えます。
- 委員 27 年度にビン・カンが微増している理由は为什么呢。  
 ワークショップとパブリックコメントを経て素案がどのように修正されましたか。  
 プラザ機能を導入してどういう効果がありますか。導入による資源物排出量の推計値を出してもらえますか。
- 事務局 過去の推計値から判断すると基本計画案 3 ページ表 2-1 のとおりの数値となります。  
 プラザ機能の導入効果を数値化するのは、非常に難しいと思えます。毎年小学生が大勢

見学に来ますので、社会科見学の対応ができ、講習会が開催できるような機能を持ち、環境を発信する拠点としての位置づけが明確になればと考えています。

会長

人口と資源物の量の推計は難しい面があります。ビンは減って、ペットボトルが増えていく流れがあり、今のところ小平市の人口は若干増えています。数値よりもきちんとした機能を作った方がいいと思います。ペットボトルの回収を始めた当時、予想以上の量がありました。その他意見はありますか。

委員

リサイクルセンターの広場は災害時の災害廃棄物の仮置き場になる可能性が高いと思いますので、それを意識した方がいいと思います。小平では災害廃棄物についての計画はありますか。

会長

防災危機管理課に確認しないと分かりませんが、仮置き場は学校のグラウンドや中央公園や民間の空き施設になるかと思います。新しいリサイクルセンターは入っていません。地域のために防災対策を取り入れるのは研究した方がいいと思います。

委員

41ページの東側にあるのは通路ですか。

事務局

東側住民が西側に回らなくても広場に入れる通路を考えています。

会長

駐車場は南側マンションの排気ガス対策のために北側に寄せ、南側に中低木を置いてプライバシーに配慮しています。

他になければ、この件は以上とさせていただきます。事務局から何かありますか。

事務局

ありがとうございました。

今後、市役所内での手続等を経て、整備基本計画として決定してまいります。

時期としましては、2月中旬の予定で、その後、議会への報告等を行ってまいります。以上でございます。

会長

次に、(2)「重点施策の実現に向けて」を議題とします。

こちらは答申内容の検討ということになります。

事務局から説明をお願いします。

事務局

本件につきましては、これまでの会議で御審議いただきました、答申に係る議事になります。

資料2は、前回の会議でお配りしたものに追記等の変更をし、「骨子案」を「答申案」としたものです。

変更の内容といたしましては、これまでの審議会でもいただいたご意見や、以前にご提案としていただいた公募委員の皆さまの作文を参考とさせていただいたほか、私ども事務局の方で書き加えさせていただいている箇所もございます。

変更をした箇所につきまして、おおまかに御案内させていただきますと、まず、1ページ目上段の1の2行目で、「数値目標の達成等を進捗管理の指標としながら、」を加えました。

同じページの下段の(4)適正な処理の維持・向上に向けた処理体制の整備では、空欄としておりました本文を追記させていただきました。

次のページの①から③までも同様に、空欄としておりました本文を追記させていただきました。

その下の(5) 家庭ごみ有料化・戸別収集への移行につきましては、本文を一般廃棄物処理基本計画の内容を踏まえる形で、書き替えをさせていただいておりますが、主旨としての大きな変更ではございません。

次に、同じページの下段の、3の(1) 3Rの推進・適正処理に向けた意識向上、では、●の下から4つを加えております。

同様に、次の(2) 生ごみの減量(食物資源の資源化推進)では3つ目以降の●、こちらは次のページになります。そして(3) 容器包装プラスチックの資源化推進、(4) 適正な処理の維持・向上に向けた処理体制の整備の①と②、そして③の2つ目の●、さらに(5) 家庭ごみ有料化・戸別収集への移行の4つ目の●が加えた箇所になります。

前回までの資料から、削った項目はございません。

以上のとおり、前回まで空欄としていた箇所も埋めさせていただきましたので、一通りの体裁は整った形となります。

本日は、この資料2を基に、御審議をいただきたく考えております。

なお、今後の予定として私どもで考えておりますのは、本日の御審議を踏まえまして、会長、副会長と調整させていただきながら、本日の内容を反映した上で、答申書を作成いたします。その後、次回の会議では、答申の内容を皆様にご確認をいただいた後に、市長へ答申するという形を考えているところでございます。

以上でございます。

会長

説明は終わりました。空欄が埋まっていると思います。

答申も本日で詰めということですので、皆様からご意見をいただきたいと思います。

委員

3の(3) 容器包装プラスチックの資源化推進について、中身は資源化推進というよりは発生抑制について書いてあると思います。資源化推進の項目を入れるか標題を変えるかした方がいいかと思います。資源化推進で言えば、例えば店頭回収をさらに進めるというのが入ってもいいと思います。

事務局

答申のつくりとしまして、重点施策の1ページが大所で2ページ目以降は細目という形になっています。店頭回収を進めることについては追記したいと思います。

委員

製品プラスチックの資源化は早めにしたほうがいいと思います。有料化について、資源物も戸別収集にするのでしょうか。東大和市では資源物を集積所収集してコストを節約しています。そういったことを考えてほしいと思います。

事務局

店頭回収は大きな課題と考えています。店頭回収できる店舗がどのくらい市内にあるのか調査から始めています。3市全体で店頭回収していない店舗がどのくらいあるのかなどを3市の部会を作って検討しています。

有料化に伴う資源物の取扱いについては、他市では無料という例がありますが、小平市が有料化する時の説明会で意見をいただき方向を固めていきたいと考えています。

製品プラスチックについてはサーマルリサイクルを一定程度検討していきたいと考えています。

会長

有料化については次回の審議事項になると思います。製品プラスチックについては不燃物、可燃物、粗大ごみに分けて、できるだけ燃えるものは燃やす方向で、その流れは変わらないと思っています。立川市などで製品プラをリサイクルしているので、小平でも動向を見ながらいつでも変更できる形だと思います。

- 委員 資料2に関して、生ごみの減量化は堆肥化が表に出っていますが、そんなに減量できません。生ごみをメタン発酵して水素を作って発電すれば、ごみがかなりの量減ると思います。堆肥化だけだと限界があると思います。  
有料化と戸別収集がどうしても結びつきません。生活習慣を変えない限りごみは減らないと思います。有料化は一律袋を買わせる抑止効果よりも、世帯別の排出目標をオーバーしたら高い料金を設定するといいいと思います。
- 委員 小平市は緑化に力を入れていますが、家庭で季節ごとにごみが出ることについてはどう考えますか。
- 会長 枝木は回収してチップにして、今は原発事故でチップをまく所がなくて困っています。枝木は分別収集して、なるべく焼却場に持って行く量を減らさないといけません。
- 委員 2の(3)資源化推進について推進のことを書いていません。項目としてはこれでいいのでしょうか。
- 事務局 基本計画の重点施策として資源化推進がありますので、項目は必要です。
- 委員 資源化することより発生抑制を図ることが基本にあると思います。
- 事務局 3Rの順位として発生抑制があって、リユース、リサイクルという流れです。
- 委員 検討課題に入れていただけるといいです。
- 事務局 検討課題として会長と調整いたします。
- 委員 有料化には賛成ですが、戸別収集は回収コストがかかると思います。最高裁の判決で、藤沢市では戸別収集でなければ有料化してはならないとなりました。
- 会長 その点については市町村のやり方の問題で、清瀬市は有料化でステーション回収です。他の市では有料化イコール戸別収集となっています。  
時間も過ぎてまいりましたので、議事については、以上とさせていただきます。本日の内容は事務局と調整させていただきます。  
それでは次回の予定について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 本日の御審議で、概ね答申の内容としては固まったかとお見受けしております。  
先ほど説明申し上げましたとおり、本日の内容を踏まえまして、会長、副会長と調整させていただき、答申書を作成いたします。  
その内容につきましては、次回の会議の前半で皆様にご確認とご承認をいただき、その後、市長に来ていただき、答申をしていただくことを予定しております。  
次回の会議の日程につきましては、4月を目途としまして、市長のスケジュールを調整の上、なるべく早く皆様にお知らせしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
- 会長 次回は4月に市長への答申ということになりますので、なるべくご都合をつけていただければと思います。その他に何かありますか。
- 事務局 事務局からは特にありません。

会長

それでは、本日はこれで閉会といたします。お忙しい中、ありがとうございました。  
これにて散会とさせていただきます。